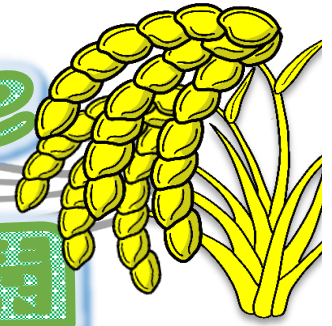




Agri Note

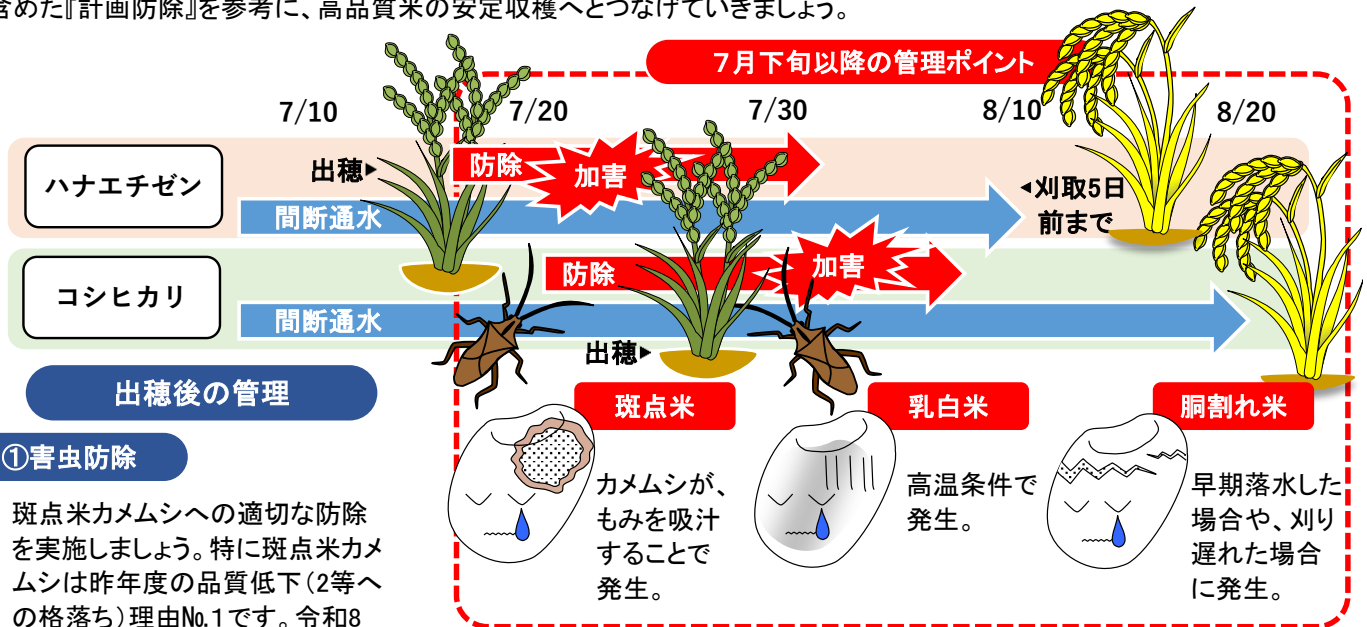
【アグリノート】

ハナエチゼン・コシヒカリ情報



JA福井県

7月になり連日厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。水稻はいよいよ、お米の品質を左右する重要な『出穂・登熟期』を迎えます。今回は、これからの時期に重要となる水管理のポイントと、斑点米の原因となるカメムシ対策についてまとめております。下記で紹介する、刈り取り5日前までの『間断通水』と状況に応じた仕上げ防除までを含めた『計画防除』を参考に、高品質米の安定収穫へとつなげていきましょう。



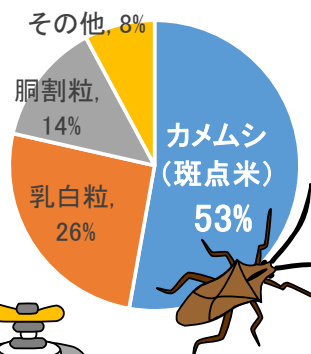
【令和7年産米格落ち理由】

【計画的防除体系】

斑点米

対策：害虫防除

- カメムシの進入を防止するため、雑草処理を行いましょう。
- 防除の徹底(2~3回)



基幹防除

臨機防除

穂揃期

傾穂期

仕上げ

防除1回目

防除2回目

防除3回目

【殺菌・殺虫剤】
いもち病・カメムシ【殺菌・殺虫剤】
いもち病・カメムシ【殺虫剤】
カメムシ

★ 紋枯れ病の症状が著しい圃場や例年発症の多い圃場では登録のある農薬で同時防除を行いましょう

②水管理

乳白米

対策：間断通水

- 間断通水は3~5日间隔
- 溝切りの底や田面の足跡の水が無くなるまゝに入水する。

間断通水は根の老化を防ぎ、品質の良い米を収穫するのに重要な作業です！

- 入水 水位: 3~5cm 程度
- 間断通水(幼穂形成期~刈取5日前まで)
- 自然落水
- この水管理の繰り返し

胴割れ米

対策：適期刈取

- 刈取5日前まで間断通水
- 適期刈取(刈り遅れ防止)

- 乾かしすぎないように！
- 足跡や溝に水が残っている状態で再び入水